

HELIX RAPIDE DN9331

Graphic Controller

Operator Manual

Klark Teknik
Klark Teknik Building
Walter Nash Road
Kidderminster
Worcestershire
DY11 7HJ
England

Tel: +44 1562 741515

Fax: +44 1562 745371

Email: info@uk.telex.com

Website: www.klarkteknik.com

HELIX RAPIDE DN9331 Graphic Controller Operator Manual
DOC02-DN9331 Issue B - August 2006
© Telex Communications (UK) Limited.

In line with the company's policy of continual improvement, specifications and function may be subject to change without notice.
This Operators Manual was correct at the time of writing. E&OE.

安全上の重要な指示



正三角形の中に稲妻があるマークは、感電の危険がある絶縁されていない「危険な電圧」がケース内に存在していることを警告しています。



正三角形の中に感嘆符があるマークは、本製品に添付してある取扱説明書に記述してある操作と保守(サービス)に関する重要な指示を読むようユーザーに示しています。

1. 安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書をお読み下さい。
2. 取扱説明書はいつでも見られる場所に保管してください。
3. 全ての警告に留意するようにしてください。
4. 全ての指示に従うようにしてください。
5. 水気の近くで本製品を使用しないでください。
6. 乾いた布のみを使用し、拭くようにしてください。
7. 通風口をふさがないようにしてください。また、製造者の指示に基づいた設置をするようにしてください。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、または他の音響機器(アンプリファイアーを含む)など、熱を発生する物の近くに設置しないようにしてください。
9. 有極プラグ、または、アースプラグ(接地型プラグ)の目的を無視した使い方をしないでください。有極プラグのブレードは片側がもう一方よりも幅が広くなっており、アースプラグ(接地型プラグ)はブレードが2本とアース用の端子が付いています。有極プラグの幅が広い方のプラグ、または、アースプラグ(設置型プラグ)のアースは安全のために備わっています。備え付けのプラグがお使いのコンセントに適合しない場合は、電気技師に依頼し古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードを踏んだり、プラグやレセプタクルなど、機器から出た部分がはさまれないように保護してください。
11. メーカー指定の取り付け具/付属品以外は使用しないでください。
12. 雷が鳴っている時、長時間使用しない時などは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
13. 整備・修理は、有資格者に相談してください。機器が損傷した場合、例えば、電源コードやプラグの損傷、水や異物が入った、雨や湿気にさらした、正常に動作しない、または落とした場合には修理・点検が必要となります。
14. 主電源から機器を切り離す場合は、電源プラグを使用してください。
15. 警告：火災や感電のリスクを下げるため、機器を雨や湿気にさらさないでください。
16. 警告：機器を水気にさらさないでください。機器の上に花瓶など液体の入ったものを置かないようにしてください。
17. 警告：パワーサプライの電源プラグはすぐに使えるようにしてください。



eTelex Communications (UK) Limited, Klark Teknik Building,
Walter Nash Road, Kidderminster. Worcs. DY11 7HJ.
England. Tel: +44 1562 741515 Fax: +44 1562
745371 www.midasconsoles.com
www.klarkteknik.com

下記署名者は、以下の製造者を代表するものとする

Telex Communications (UK) Limited (Klark Teknik Building, Walter Nash Road, Kidderminster, Worcestershire, DY11 7HJ) は、この報告書に記載された下記製品が

製品名	製品の説明	交渉電圧(s)	電流	周波数
HELIX RAPIDE DN9331	Graphic Equaliser Remote Controller	115V AC 230V AC	1000mA 500mA	50/60Hz

下記の

指示書および/または標準に適合することを明記します。

Directive(s)	Test Standard(s)
89/336/EEC Electromagnetic Compatibility Directive amended by 92/31/EEC & 93/68/EEC 73/23/EEC, Low Voltage Directive, amended by 93/68/EEC	
Generic Standard Using EN55103 Limits and Methods	EN50081/1
Class B Conducted Emissions PAVI	EN55103
Class B Radiated Emissions PAVI	EN55103
Fast Transient Bursts at 2kV	EN61000-4-4
Static Discharge at 4kV	EN61000-4-2
Electrical Stress Test	EN60204
Electrical Safety	EN60065

Date: 10th May 2006

Name: Simon Harrison

Authority: Research and Development Director,
Telex Communications (UK) Limited

注意

該当する場合、これらの製品を修理する際に守るべき特別な使用制限に対し、上記指示書の順守の維持するために指定者、購入者、設置者または利用者の注意が喚起されます。このような特別措置や使用制限についての詳細は請求して利用でき、製品の取扱説明書に記載されています。

このたびはクラークテクニク社の製品をお買い上げ頂き有り難うございます。

クラークテクニク社では素晴らしいオーディオ性能、使いやすさ、耐久性にこだわり、ライブサウンド・エンジニアの要望に応じた本製品を開発しました。

付属されている本製品の保証書は大切に保管してください。またわずかの努力で最適な結果を得られるように、この操作説明書を最後までお読みください。また「重要な安全上の注意」と「注意」のページは必ずお読みください。

最後になりましたが、クラークテクニク社のDN9331RAPIDEをお楽しみください。

CONTENTS

注意!	1
1.HELIX RAPIDE グラフィック・コントローターの導入	3
1.1. フロントパネル	4
1.2. リアパネル	6
1.2.1 換気	6
1.2.2 ラックマウント	6
1.2.3 コネクタとスイッチ	6
2. はじめに	7
2.1. プログラミング・パネルを動かすには	7
2.2. ホームページ	7
2.3. ユーザー・メニュー	8
2.4. テンプレート	8
3. テンプレートのリコールとストアをするには	9
3.1. テンプレートを理解するには	9
3.2. テンプレートのリコール	9
3.2.1 リコール・シーケンスのフローダイアグラム	10
3.3. テンプレートのストア	10
3.3.1 スタアに名前をつけるには	11
3.3.2 設定を保存するには	11
3.3.3 スタア・シーケンスのフローダイアグラム	11
4. グラフィックEQメニューを動かすには	13
4.1. グラフィックEQチャンネルの表示	13
4.2. グラフィックEQのレスポンス・メニュー	13
4.3. グラフィックEQのオートゲイン・メニュー	14
4.4. グラフィックEQのフラット・メニュー	15
4.5. コピーEQメニュー	16
4.6. グラフィックEQメニューシーケンスのフローダイアグラム	18

5. セットアップ・メニューを利用するには.....	19
5.1. マルチ・マスター・モードのメニュー.....	19
5.2. HELIX「Get All」メニュー.....	20
5.3. ソロトラッキング・コンソール・タイプメニュー.....	22
5.4. チャンネルのセットアップ・メニュー.....	22
5.5. STSソロトラッキングのセットアップ・メニュー.....	23
5.5.1 変更を加えるには.....	23
5.5.2 STSソロトラッキングのオプション.....	24
5.5.3 ソロトラッキングのセットアップ例.....	24
5.6. チャンネルのロング・ネームのセットアップ・メニュー.....	25
5.7. チャンネルのショート・ネームのセットアップ・メニュー.....	25
5.8. LCDコントラストのメニュー.....	26
5.9. LEDの明るさメニュー.....	26
5.10. ユニットに名前を付けるメニュー.....	27
5.11. ワーキング・メモリーに名前を付けるメニュー.....	27
5.12. パワーアップ・ロゴのメニュー.....	28
5.13. イーサネット通信のセットアップ・メニュー.....	28
5.14. イーサネット・サブネット・マスクのメニュー.....	29
5.15. メニューシーケンスのフローダイアグラム.....	30
6. 技術仕様	31



目次の前にある
「重要な安全上の注意」及び、次の「安全上の警告」「設置について」を読み、
その指示に従ってください。

安全上の警告

感電や火事の危険を防止するため、本ユニットを雨水のかかるところに置かないでください。感電予防のため、カバーは取り外さないでください。整備は必ず資格を持つ担当者に相談してください。

本ユニットには標準ヒューズ付き IEC 電源接続口が装備されています。本ユニットは 100V から 240V (±10%) AC 電圧、50/60Hz に自動調整するスイッチ・モード電源が内蔵されています。この仕様はユニット背面、電源差込口の下に印字されています。

本ユニットを電源に接続する前に、取り付けられているヒューズの型式と定格がリアパネルに記載されたものと同じであることを再確認してください。

安全のため、アース線の接続を外さないでください。グラウンド・ループ問題が発生したときは、接続ケーブルの一方の信号スクリーンを切断してください。これはユニットをバランス・システムで使用した場合にのみ該当します。

設置について

- 設置場所: 高温、ほこり、機械による振動を受ける場所に設置しないでください。周囲が適切に換気でき、ファンや換気口をふさがないようにしてください。ユニットの過熱防止のため、パワーアンプや大量の熱を放散するユニットの真上に取り付けしないでください。必要であれば、ファン冷却ラックを使用してください。
- ケーブル: 本製品を正しく確実に動作させるには、高品質のスクリーングランド付きツイストペア・オーディオ・ケーブルを使用し、本体部分が金属製の 3 ピン XLR コネクタ (Pin 2 Hot) で終端させてください。
- 電場: 本製品をオーディオ周波数信号 (20Hz から 20kHz) で振幅変調された電磁場で使用した場合、S/N 比が低下することがあります。極端な場合には (3V/m、90%変調)、変調信号に対応する周波数で最大 60dB 低下することがあります。

開梱後

本ユニットを後日運搬する際に備え、梱包材は保管しておいてください。

輸送中に損傷していないか丁寧に調べ、損傷があった場合は直ちに宅配便業者に連絡してください。

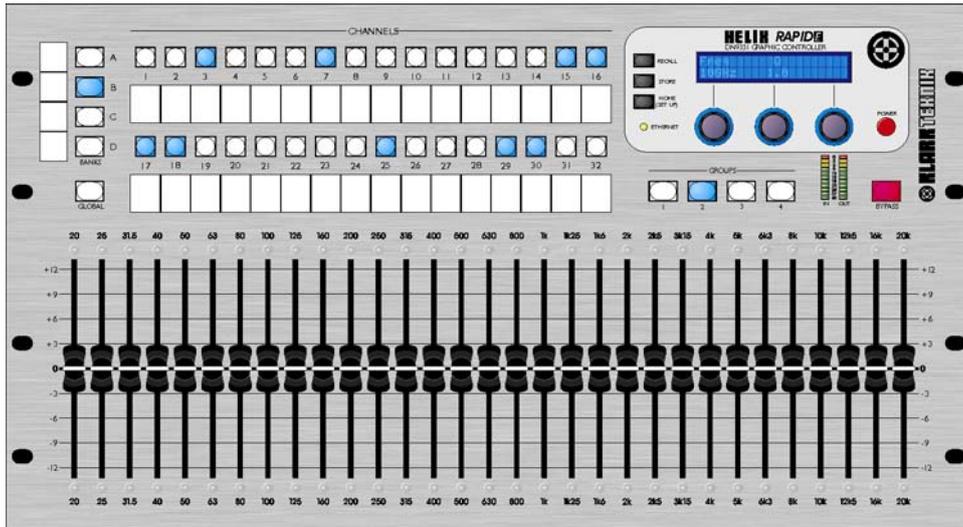


1. HELIX RAPIDEグラフィックコントローラーの導入

HELIX RAPIDE DN9331は、モーター付の31-band グラフィック・イコライザーでMidasのデジタルコンソールとKLARK TEKNIK デジタル・イコライザーシステムの両方をリモート・コントロールすることが出来ます。

このコントローラーは、31個のコンソールクオリティな、高解像度のモーターを取り付けたフェーダを用いて、フェーダ位置を即座にリコールすることを提供します。

この柔軟なユーザー・インターフェイスは、32チャンネルのセレクト・ボタンと4つのバンク全体で、カスタムメイドでリモート・チャンネルを任意に選択することが出来ます。4つの自由な割り当てが可能なグループ・ボタンとグローバル「オール・チャンネル」ボタンは、チャンネルを相対的に調整することを可能にします。そして、優先的に舞台上でのフィードバックを止めることを行い、その後、特定したソースを見つけ出す方法では特に重要です。



HELIX RAPIDE Front View

HELIX RAPIDEは、ショーコマンド・システム・ネットワークの中心となります。8つの外部ポート・イーサネット・ハブは、ELGAR Helix EQ RCSを走らせているラップトップまたはタブレットPCへの有線であるか無線接続とシステム・コントローラー・RCSをHelixデジタルイコライザーとシステムプロセッサの接続が行え、装置に取り込みます。

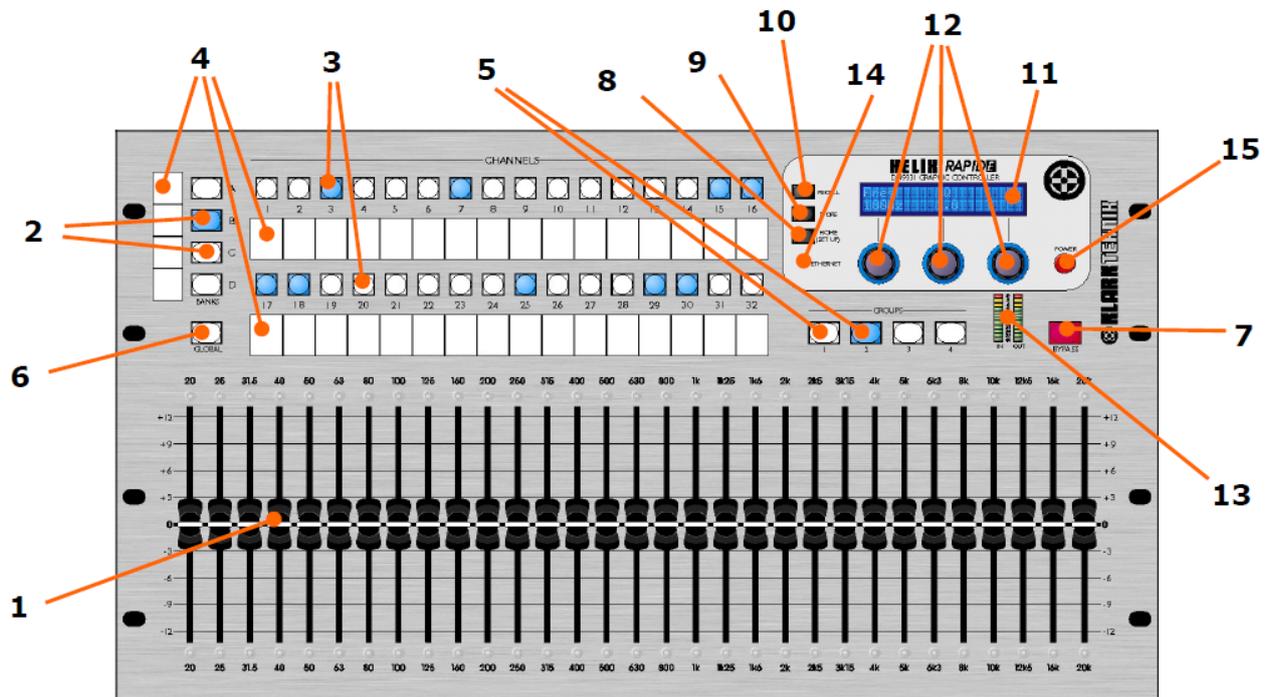


HELIX RAPIDE Rear View

ホストソフトウェアV4.00またはそれ以降のユニット以外でも、HELIX RAPIDEは、シリアルからイーサネットのコンバータを使用し て接続することができ、オリジナルのHelix DN9340とDN9344デジタルイコライザーと互換性を持たすことができます。



1.1. フロントパネル



- | | | |
|---|-----------------------------|--|
| 1 | モーター付フェーダ | 31サーボコントロール、モーター付100mフェーダ、ISO-標準頻度: BS EN ISO 226: 1997で定められた物を使用。 |
| 2 | バンク選択ボタン (A/B/C/D) | ラッチの無い4つのバンクボタン(A/B/C/D)は、そのバンク・ボタン毎に32チャンネルのチャンネルアクセススイッチ(アイテム3)を利用することができ、それを選択する際に使用します。また、各バンクで最後に選んだチャンネルは記憶されており、 HOME (SETUP) ボタンを押すことで、画面はHome pageに戻り、この機能はキャンセルされます。 |
| 3 | チャンネル・アクセス・ボタン(1~32) | ラッチの無い32のチャンネル・アクセス・ボタンは、4つのバンク毎に個々のグラフィックEQチャンネルにアクセスするのに用いられます。チャンネル・アクセス・ボタンは総体的に青いLEDを備えていて、2列16個で配置されます。チャンネル・アクセス・ボタンの1つを連続して押すことで、割り当てられたチャンネルのためにユーザーを Graphic EQ Menu オプションに導きます。 |

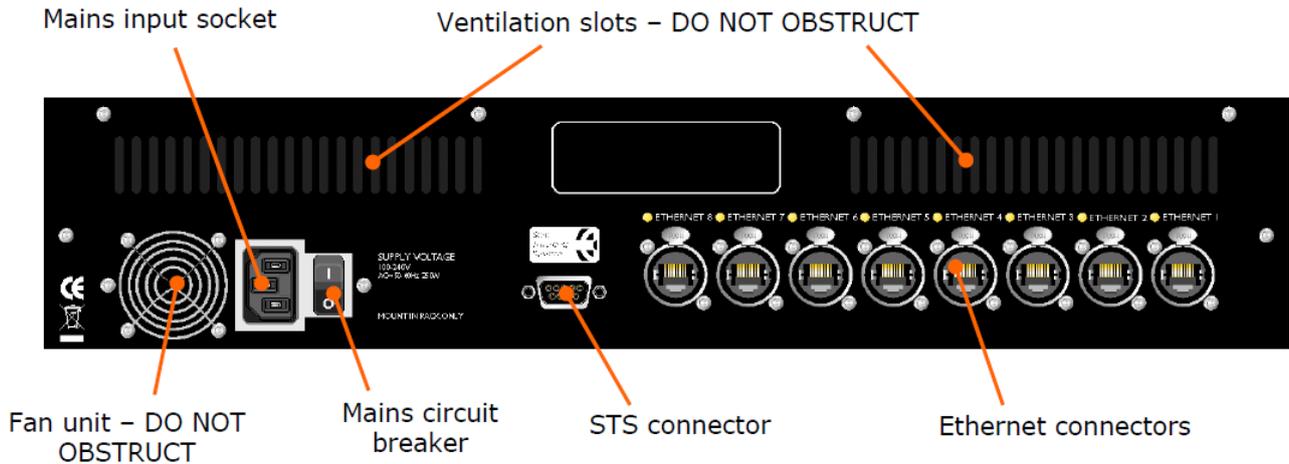
HELIX RAPIDEは常にアサインされた1つのチャンネル(またはペア)を表示しますが、本機からチャンネルのリンク/アンリンクは出来ません。リンクしたペアのどちらか1つのチャンネルに変化を加えると、そのペアになっている他のチャンネルにも反映されます。同じバンク内でリンクされているチャンネルがあった場合、両チャンネル・アクセス・ボタンは同時に点灯し、2つのリンクしたチャンネルが異なるバンクにある場合、チャンネル・アクセス・ボタンはそれぞれのバンクが選ばれた時に点灯します。リンクしたチャンネル・ペアのどちらかのチャンネルがグループに加えられた場合、リンクされたチャンネルはそのグループに自動的に加えられ、グループメンバーに対する変化が両方のリンクしたチャンネルに影響を与えます。グローバル・モードでは、割り当てられたすべてのチャンネルが点灯し、すべてのチャンネルに等しく相対的な調整を与えます。



- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 4 | 書き込みストリップ | 各32チャンネルのアクセス・ボタン下に、ユーザーが手書きでチャンネルの役割を書き加えることができる書き込みストリップが有ります。また、バンク・ボタンの左側にも同様の書き込みストリップがあります。 |
| 5 | GROUPボタン(1/2/3/4) | ラッチの無い4つのグループ・ボタンは、グループにアサインされたチャンネルに相対的な調整を与えることが出来ます。グループが選ばれたとき、そのそれぞれのグループ・ボタンとグループにアサインされたチャンネル・ボタンは点灯します。3秒間以上グループ・ボタンを押すことで、HELIX RAPIDEがグループのセットアップ・モードに入ることが出来ます。そして、それは個々のチャンネルがグループに切り換えられた事を示します。グループ設定モードでグループ・ボタンを選択したならば、現在の選択されたバンク・ボタンと選択したチャンネル・ボタンは、グループに追加して点灯させるか、もし選択していなければ点滅します。
複数のバンクに同じチャンネルをグループの一部としてアサインにすることができ、グループが選ばれる間、バンク・ボタンはアクティブのままです。これは、通常のグループ操作とグループ設定モードに適用することが出来ます。グループが選択されるたびに、モーターフェーダは0dBの位置に戻り、グループ全体を調整できます。
グループ・モードをキャンセルするには、 HOME (SETUP) ボタンまたは GLOBAL ボタンを押すことで可能となります。ユニットがELGARに接続しているとき、この機能は使用出来ません。 |
| 6 | GLOBALボタン | ラッチの無いGLOBALボタンが押されるとき、バンクであらゆるチャンネルを同時に監督することを可能にします。グローバル・モードは、HOME (SETUP)またはグループ・ボタンを押すことによってキャンセルされます。ユニットがELGARに接続しているとき、この機能は使用出来ません。 |
| 7 | BYPASSボタン | ラッチの無いバイパス・ボタンは、選ばれたチャンネル、チャンネルのグループまたはグローバル・モードの場合、すべてのチャンネルに影響し、グラフィックイコライゼーション機能はバイパスされます。連続してキーを押すことでON/OFFを繰り返します。 |
| 8 | HOME (SETUP)ボタン | ラッチの無いHOME (SETUP)・ボタンを押すことで、現在アクティブになっているチャンネル、またはイコライザーのグループも解除し、すべてのフェーダは0dBの位置に戻ります。これは、電源投入時のデフォルト状態と同様です。ホームページ(デフォルト)のとき、1秒間以上このボタンを押し続けることで設定メニュー入ることが出来ます。 |
| 9 | STOREボタン | ラッチの無いストア・ボタンは、テンプレートにストアするのに用いられます。 |
| 10 | RECALLボタン | ラッチの無いリコール・ボタンは、テンプレートをリコールするのに用いられます。 |
| 11 | 液晶表示(LCD) | この英数字液晶ディスプレイ(LCD)は、2列20文字を表示し、バックライトは青いLED仕様です。 |
| 12 | エンコーダ | 3つのロータリー・エンコーダーは、データ入力のために使われ使用します。各々は、点灯する輪状のリングを持っています。 |
| 13 | メーター | 2つの20セグメントLEDメーターは、入力と出力の監視が出来ます。これらは個々のチャンネルが選ばれた時アクティブになりますが、グループとグローバル・モード、ホームページでは動作しません。 |
| 14 | イーサネットLED | LEDは、HELIX RAPIDEメインプロセッサとオンボードのイーサネット・スイッチの間でデータ通信状況を示します。ユニットが動作している時、それはいつでも点滅され、データが受け取るか、送られている間、光ります。 |
| 15 | 電源ボタン | スイッチを押すことでユニットのON/OFFが出来ます。 |



1.2. リアパネル



1.2.1 換気

防護されたファン・ユニットと通気口は、ユニット内に気流をもたらすために用いられます。ファン・ユニットと通気口が塞がれている事の無いよう注意してください。

1.2.2 ラックマウント

重要!

ユニットをラックに取り付けるとき、1Uのラックスペースが効率的な換気のため、ユニットの上部よりフリーのスペースを確保するようにする事をお薦めします。

1.2.3 コネクタとスイッチ

後部のパネル電源サーキット用のロッカースイッチは、電源入力コネクタと一緒に据え付けられます。ユニットは、以下のコネクタを備えています：

- 全体のヒューズを持つBulgin PF11スナップ・フィットのIEC電源インレット。
- A 9-pin 'D'-type、Solo トラッキング・システムのインターフェイス・コネクタ
- 8つの Neutrik NE8FBH Ethercon コネクタ



2. はじめに

HELIX RAPIDEの性能は、絶えず更新されており、新しいユニットが出荷されるときには最新の状態で出荷されるため、操作が異なる場合があります。このガイドの主な目的は、そのパフォーマンスがベストな状態でニーズを満たす事が出来るように、HELIX RAPIDEを構成し、カスタマイズすることです。

このガイド内のイメージ図は出荷時の通常設定となっているユニットを表しているため、カスタム化されたユニットとこのガイドのイメージ図がわずかに異なっている場合があります。

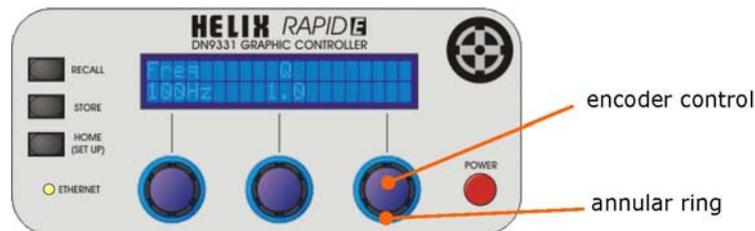
カスタムした構成プロセスを開始する前に、プログラミング・パネルを使ってよく把握する必要があります。第2章をご覧になる前に、このセクションを参照することをお勧めします。

2.1. プログラミング・パネルを動かすには

HELIX RAPIDEのパラメータは、下で示されるプログラミング・パネルを使ってモニターされ、コントロールされます。

グラフィック・イコライザーの設定とシステム構成設定の両方は、このパネルを使ってアクセスすることができ、コントロールすることができます。各々のメニューページは示されたパラメータは3つのデータ入力エンコーダ・コントロール・ノブと連動し、そのパラメータ値の調節などに用いることができます。

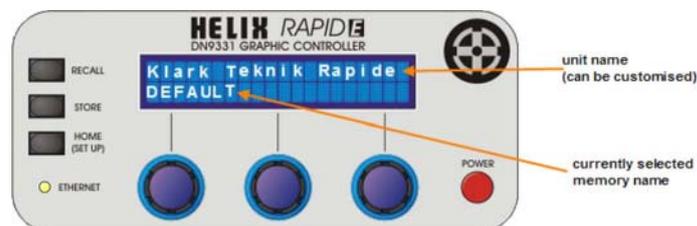
テンプレートのストアとリコールは、プログラミング・パネルを使うことでコントロールできます。



アクティブなエンコーダ・コントロールは、エンコーダを囲った環状リングが点灯して示されます。

2.2. ホーム ページ

ホームページは、電源投入時のデフォルトとなるページです。チャンネルまたはグループは選ばれていない場合、すべてのフェーダは0dB(フラット)の位置に置かれます。LCDは、ユニット名を上部のラインに示し、下部のラインは現在のワーキング・メモリーの名前を表示します。



エンコーダのどれも作動中で無い場合、それらは関連した環状リングは点灯しません。ユニットは、どのチャンネルやグループ選択ボタンも、選択が出来る状態になっています。ホームページへ戻るには、常にHOME (SET UP) ボタンを押すことで可能です。



2.3. ユーザー・メニュー

2種類のユーザー・メニューがあります:グラフィックEQとセットアップです。 個々のチャンネルが選ばれたとき、あるいは、一連のチャンネル(GROUP)またはすべてのチャンネル(GLOBAL)を選択したとき、グラフィックEQメニューが動作し、HOME (SET UP) キーが1秒以上押されたときは、セットアップ・メニューが動作します。これらのメニューの詳しい説明は、このユーザーガイドのセクション-4と5を参照してください。

2.4. テンプレート

HELIX RAPIDEは最大16のテンプレートに設定を保存することができます。そして、それはプログラミング・パネルによってストアまたはリコールができ編集することが出来ます。これらのプロセスの詳しい説明は、第3章を参照してください。



3. テンプレートのリコールとストアをするには

3.1. テンプレートを理解するには

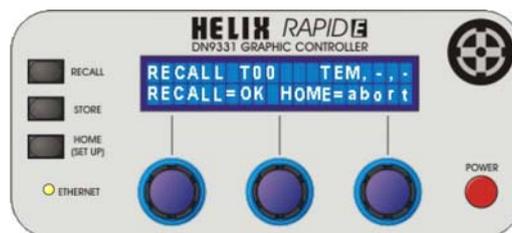
HELIX RAPIDEは最大16のテンプレートを保存する機能があり、事前に設定したプリセット・データを保存し、呼び出す事が出来ます。テンプレートはプログラミング・パネルからアクセスすることで、それらのストア、リコール、ネーミングが出来ます。-

ストアできるテンプレートの内容は、以下の通りです:

- テンプレートの名前(セクション3.3.1を参照)。
- STS コンソールのタイプ(セクション5.3を参照)。
- STS タイプ(セクション5.5を参照)。
- バンクAからDのチャンネル・アクセス・ボタンのアサイン(セクション5.4を参照)。それらはEQモード、STSコンソール・セクション、その他に依存しているので、幾つかの枠が何も表示されないことに注意してください。
- グループ・アサイン 1から4(ページ5の5項目を参照)。4つのグループ・アサインの各々は、そのグループですべてのバンクで、すべてのチャンネルのリストを含みます。

3.2. テンプレートのリコール

RECALLボタンを押すことで、呼び出したいテンプレートを選択することが出来ます。そして、それはメニュー・ストラクチャー上のどんな場所であっても常に行うことが出来ます。表示は、最後のテンプレートを示すように上部ライン上で呼び出され、下部に、HOME (SETUP)を押すことで、リコールを中止させることが出来ることを伝えるメッセージを表示します。



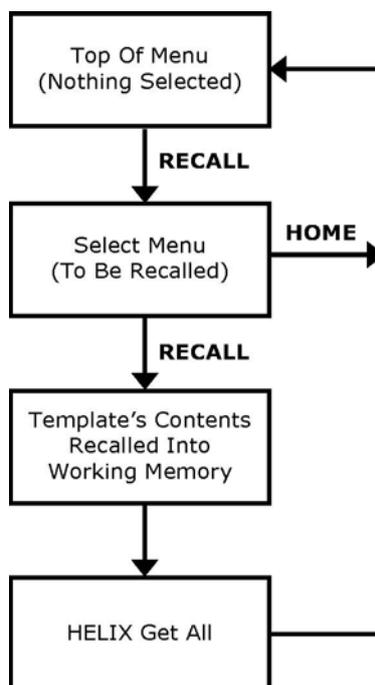
再度RECALLボタンを押し、左側のエンコーダを回すことで順番に16のテンプレート(T00からT15)を表示します。

テンプレートT00は、すべてのチャンネル・アクセス・ボタン・マッピングをOFFにし、すべてのフェーダ設定をゼロにセットします。このテンプレートはマスターとして用いるため、T00には上書き(ストア)することが出来ません。また初回起動時、RECALLボタンを押すとT00が選択されます。

必要なテンプレートが示されたとき、RECALLを押すことで、ワーキング・メモリーに再びそのセッティングをリコールします。テンプレートのリコール・シーケンスを中止したい場合はHOME (SET UP)ボタンを押すとトップ画面に戻ることが出来ます。



3.2.1 リコール・シーケンスのフローダイアグラム



3.3. テンプレートのストア

テンプレートのストア・プロセスは、15の利用できるテンプレートの1つをHELIX RAPIDEの現在のセッティングを保存するために用いられます。これは、メニュー・ストラクチャーのどんな場所であっても行うことができます。

STOREを押すことでテンプレート・ストアのメニューにアクセスします。表示は、現在のテンプレートの番号(下記の例はT01)を示します。再び**STORE**を押すことで、画面下段にこのテンプレートに現在の設定を保存する、中止するか確認のメッセージが現れます。このプロセスのどのステージでも**HOME(SETUP)**を押すことで、シーケンスを中止することができます。テンプレートのシーケンス中に、いつでも**HOME(SETUP)**を押すことで、保存せずにこのプロセスから出ることが出来ます。



選みたいテンプレートの場所に到着するまで、テンプレート(T01からT15)を左側のエンコーダ(それはアクティブなので点灯しています)を使って進めてください。そして、セクション3.3.1へ進んでください。



3.3.1 ストアに名前を付けるには

選んだテンプレートでSTOREを押すと、新しい設定のテンプレートで名前をつけることができます。初期状態のテンプレートの全ては、「DEFAULT」(下記の図を参照)という名前になっています。

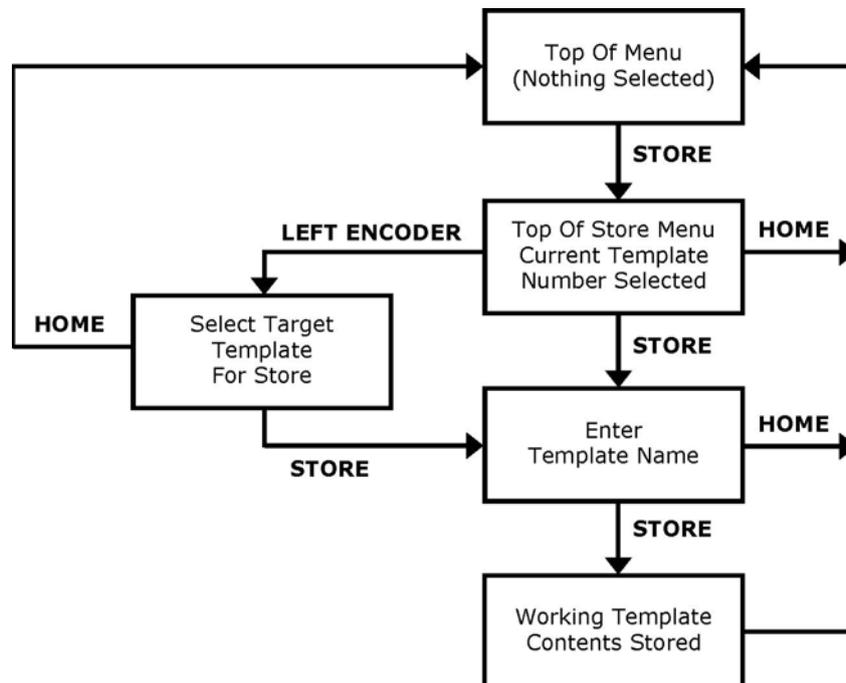


テンプレートの名前(最大20文字まで)を変更するには、中央のエンコーダで文字/番号/シンボルを選んで、左側のエンコーダでカーソルを移動させて入力または編集してください。

3.3.2 設定を保存するには

STOREを再び押すことで、テンプレート・ストアのシーケンスを完了して、メニュー・ストラクチャーのトップに戻ります。

3.3.3 ストア・シーケンスのフローダイアグラム







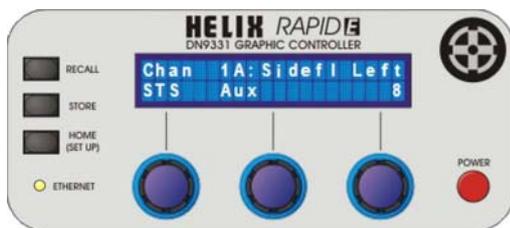
4. グラフィックEQメニューを動かすには

グラフィックEQのメニュー設定は、個々のチャンネル、チャンネルのグループまたはすべてのチャンネル(GLOBALボタンによって)を選択時に有効になります。アサインされているそれらのボタンをもう一度押すことでメニューに進むことができます。

このセクションでは、メニュー内で利用できるオプションについて紹介します。シーケンス・フローダイアグラム(Graphic EQメニューページの相互関係を示します)は、このセクションの最後(セクション4.6)で見ることができます。

4.1. グラフィックEQチャンネルの表示

これはグラフィックEQの最初のメニューで、画面上段でチャンネルに割り当てられる名前(Helixのロング・ネームか、デジタルコンソールの8文字の名前)を示します。下部は、STSソロトラッキングのアサイン(Helix EQsの場合)かデジタルEQのタイプを示します。プログラミング・パネルは、通常アクセス・ボタンが押された場合、この表示を示します。



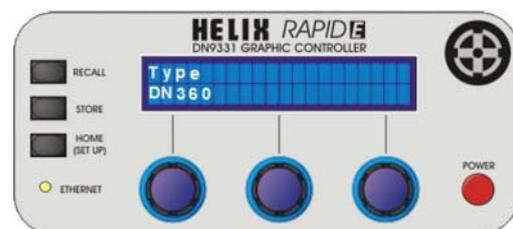
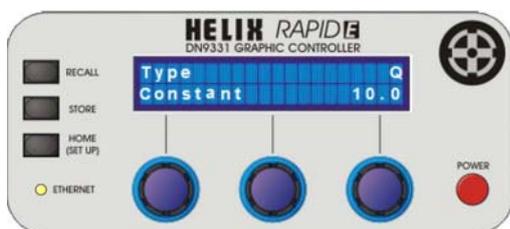
グラフィックEQのチャンネル表示では、どのエンコーダも動作しません。

4.2. グラフィックEQのレスポンス・メニュー

4.1の状態からさらにチャンネル・アクセス・ボタンを押すと、グラフィックEQのレスポンス・メニュー(下記図)が現れ、グラフィックEQのタイプが選択できます。この時点灯している左右のエンコーダを使用して「タイプ」は、左側のエンコーダ、「Q」は右側のエンコーダを使用して変更することができます。

示されるセッティングは、現在選ばれるチャンネルに関するものです。グループのチャンネルを選んでいるか、あるいは、すべてのチャンネルがグローバル機能を使って選ばれているならば、下記の右の図で示すように、グラフィックEQのレスポンス・メニューは示されません。

選ばれたチャンネルがデジタルコンソールグラフィックEQに割り当てられているならば、DN370スタイルのレスポンスだけがサポートされ、このメニューは表示されません。グループかグローバルの選択の場合でもそれは示されません。



このメニューによって、グラフィックEQのタイプと、EQステージのQを選ぶことができます。5種類のGraphic EQレスポンスが選択でき、DN360とDN27レスポンスのエミュレーションに加えて、プロポーションナル、コンスタント、シンメトリカルです。グラフィックEQのデフォルトのタイプは、「プロポーションナル」です。



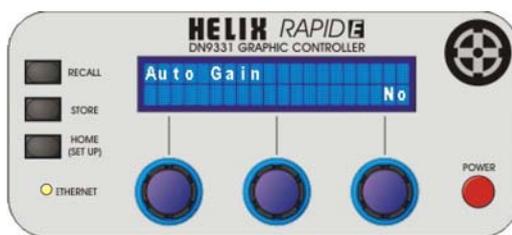
プロポーションナル、コンスタント、シンメトリカルのレスポンスが選ばれるとき、Qの枠は有効となり、現在の値を示します。プロポーションナル・レスポンスでは、示されたQ値は、完全にブーストまたはカットされた時のEQステージでの値です。

次のセクション4.3に進む為にチャンネル・アクセス・ボタンをもう一度押してください。

4.3. グラフィックEQのオートゲイン・メニュー

このメニューによって、選ばれたチャンネルの信号ゲインが、各バンドでカットまたはブーストした量に応じて反映するように調整するAuto Gain機能を可能にすることができます。Auto Gainがサポートしていない状態で、選ばれたチャンネルがデジタルコンソールのグラフィックEQに割り当てられているならば、このメニューは表示されません。また、グループかグローバルの選択の場合でもそれは示されません。

YesまたはNo(デフォルト)を選ぶのに、右側のエンコーダを使ってオートゲイン動作を有効にするか、無視するかを選ぶ事が出来ます。

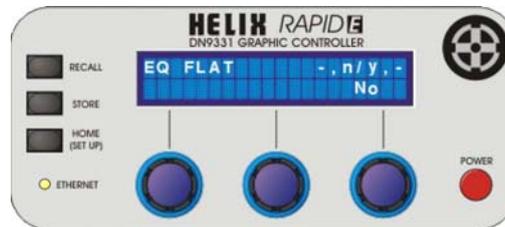


次のセクション4.4に進む為にチャンネル・アクセス・ボタンをもう一度押してください。

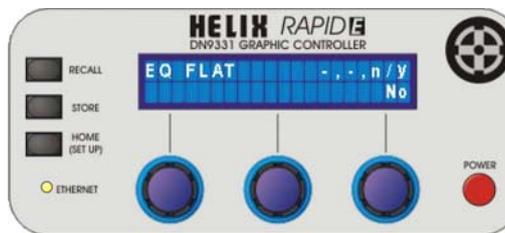


4.4. グラフィックEQのフラット・メニュー

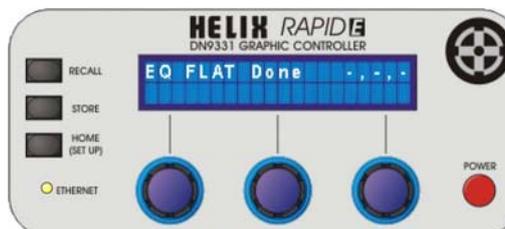
中央のエンコーダが点灯し、YesとNo(デフォルト)間でEQのフラットを切り変えます。現在呼び出されているユニット上のどんな個々のフェーダでも、バイパスがキャンセルされた状態で、EQフラットとなるように実行されます。EQをフラットにしたいのであれば、次のメニュー(セクション4.5を参照)へ進めために、チャンネル・アクセス・ボタンを押してください。



EQをフラットする場合は、中央のエンコーダを回してください。



中央のエンコーダを回すと右側のエンコーダが点灯します。EQをフラットにするために、もう一度右にエンコーダを回してください。以下の表示が現れ、すべてのフェーダはゼロにリセットされます。

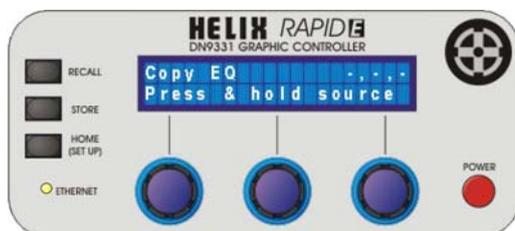


次のセクション4.5に進む為にチャンネル・アクセス・ボタンをもう一度押してください。

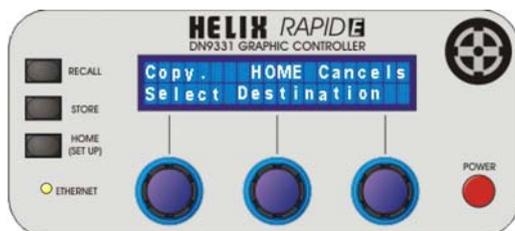


4.5. コピーEQメニュー

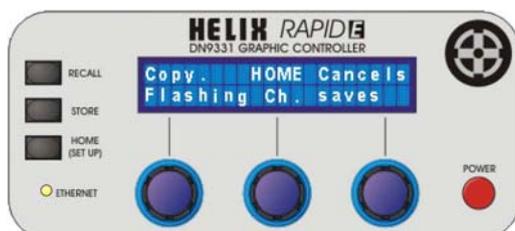
グラフィックEQメニューの最後は、あるチャンネル・アクセス・ボタン(ソースチャンネル)に割り当てられているイコライザーチャンネルの設定を、他のチャンネル(目的チャンネル)へコピーすることができます。またリンクされたチャンネルをコピーすることもできますが、リンクされたチャンネルだけにしかコピーすることは出来ません。コピーEQ機能は、グループまたはグローバル・モードでは利用できません。いつでもHOME (SETUP)は、どんな変化でも反映させることなく、デフォルト表示に戻ります。



ソースチャンネルのチャンネル・アクセス・ボタンをボタンがフラッシュするまで押してください。以下の表示が現れます。リンクされたペアのどちらかのチャンネルでもソースチャンネルとして選ばれたならば、リンクされた両方のチャンネルは点滅します。リンクされたチャンネルが異なるバンクにあるならば、それぞれのバンクを選択した時、そのチャンネル・アクセス・ボタンは点滅します。



コピーしたい目的チャンネルのチャンネル・アクセス・ボタンを押してください。ボタンは点灯し、ソースボタンはまだ点滅しています。目的チャンネルがリンクされたペアの一部ならば、両方のリンクしたチャンネルは点灯します。リンクされたチャンネルが異なるバンクにあるならば、それぞれのバンクを選択した時、そのチャンネル・アクセス・ボタンは点灯します。





Graphic EQ Menus

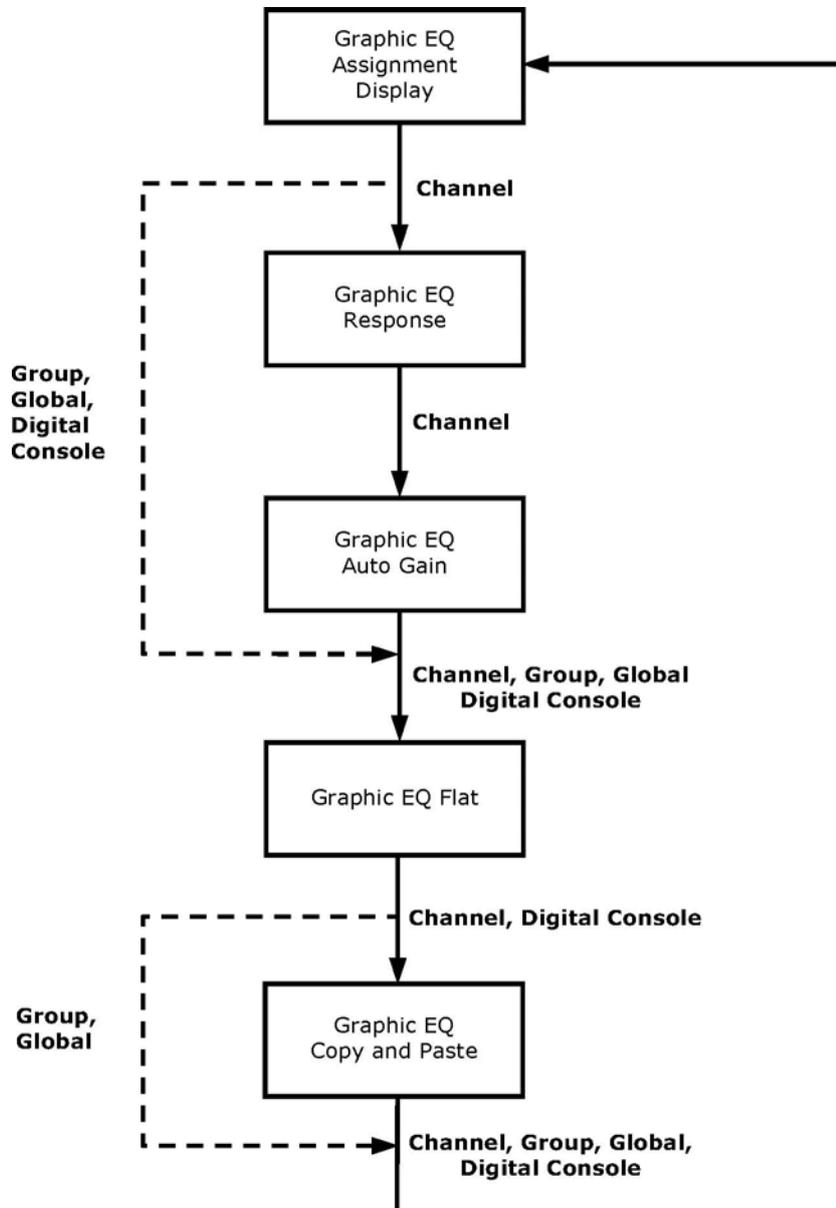
コピー機能を実行するために、点滅している(ソース)チャンネル・アクセス・ボタンを押してください。リンクされたチャンネルがソースとして選ばれているならば、リンクされたチャンネルのどちらかを押すことでコピー機能は実行されます。**HOME (SETUP)** またはどのアサインしていないチャンネル・アクセス・ボタンを押すことで、デフォルト表示へ出ることが出来ます。



STOREを押すことで、コピー機能を完了することが出来ます。表示は、グラフィックEQチャンネルの表示に戻ります。



4.6. グラフィックEQ メニューシーケンスのフローダイアグラム





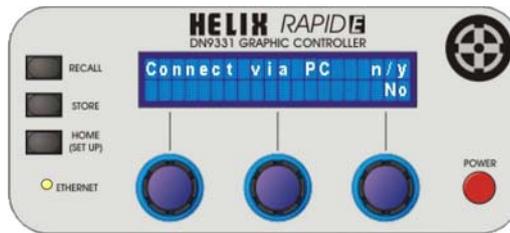
5. セットアップ・メニューを利用するには

セットアップ・メニューは、現在選ばれたチャンネルが無い時に「Home page」(セクション2.2を参照)を経由して入ることが出来ます。HOME (SET UP)を1秒以上押した時セットアップ・メニューを動作させることが出来ます(セクション5.1を参照)。

繰り返しHOME (SET UP)ボタンを押すことで捜しているメニューまで連続して進みながらセットアップ・メニュー(セクション5.15を参照)を見ることが出来ます。

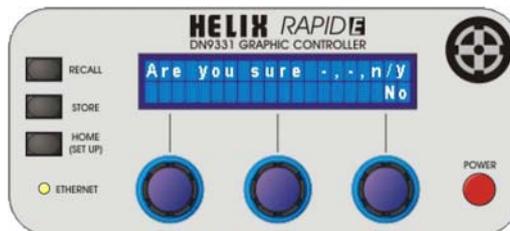
5.1. マルチ・マスター・モードのメニュー

HOME (SET UP)を1秒以上押し続けてセットアップ・メニューに入った後、最初のメニューが表示されます。ここでは、「Yes」を選択することでPCによってシステム内のどんなHELIXユニットでもコントロールするために、ELGARを起動させ操作することが出来ます。または、「No」の選択では、すべてのHelixユニットがシステムにつながれているものを「サーチ」するための操作を有効にさせます。



現在のオプションを選択するためにHOME (SET UP)を押してください。

現在のオプションを変えるために、右側のエンコーダを使用してください、それから、HOME (SET UP)を押してください。以下の「確認」表示が現れます。



変更したオプションを選択して先に進めるために、右側のエンコーダを回してください。HOME (SET UP)を押すと設定前の画面に戻り、変更は無視されます。HELIX「サーチ」オプションまたはセクション5.2でPC接続オプションを選択したならば、セクション5.3へ進んでください。



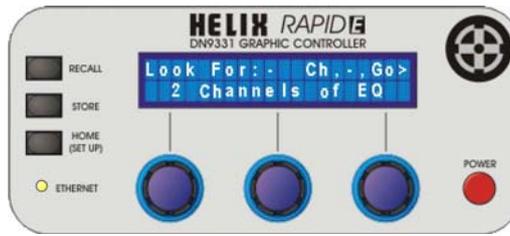
5.2. HELIX 「Get All」メニュー

HELIX「GET ALL」メニューは、セットアップ・メニューの2番目のメニューでマルチ・マスター・モードのメニューにより「No」を選択することでアクセスすることが出来ます（セクション5.1を参照）。（マルチ・マスター・モードのメニューではYESを選ぶことで、ソロトラックキングのコンソール・タイプのメニューへ進みます。セクション5.3を参照）このメニューによって、HELIX RAPIDEがネットワーク上で繋がっているHELIXユニットの数を見つけて、各々のチャンネルのために以下の情報を得よう「サーチ」操作を行うことができます：

- EQ チャンネル数
- グラフィックEQ レスポンス・タイプ
- グラフィックEQ Q.
- オートゲインのon/off.
- HELIX ロングチャンネル・ネーム
- HELIX ショートチャンネル・ネーム
- チャンネルのフェーダ・ポジション(20Hz – 20kHz).
- リンク状態
- IP アドレス

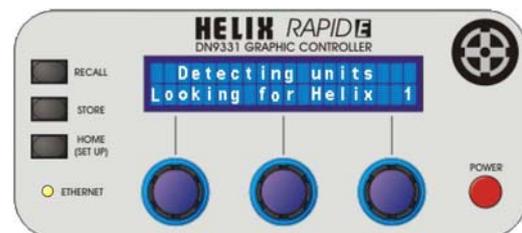
GET ALLをすでに実行したか、ちょうどメニューのこの操作をスキップしたいならば、直接次のメニューレベルへ移るために、HOME (SET UP) ボタンを押してください。

GET ALLページ(すぐ下で示されている)で、HELIX RAPIDEがネットワーク上でペアを含む、探さなければならないHELIXチャンネルの最大数を選ぶために、左のエンコーダを使用してください。



サーチ動作を始めるために、時計回りに右側のエンコーダを回してください。HELIX RAPIDEは、左側のエンコーダで設定したチャンネルの数を捜し始め、数字(2段目の右端)は、画面の右下にはHELIX RAPIDEが現在検出しているチャンネル数(1~32)が表示されていきます。

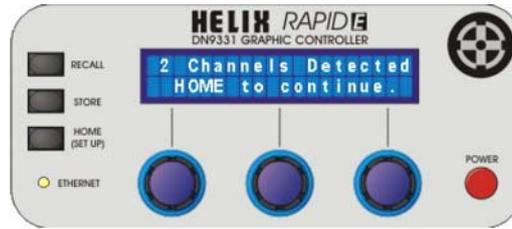
HELIX RAPIDEが各々のチャンネルを検出し、GET ALLメニューの上記の情報をサーチしていきます。





Set Up Menus

サーチ操作が終わったあと、ディスプレイは次のように表示されます。チャンネルをそれらに割り当てたすべてのバンクAチャンネルのアクセス・ボタンは点灯します。



HOME (SET UP) を押すことで、デフォルト表示に戻ります。

HELIXユニットがHELIX RAPIDEによってネットワークで見つけることが出来なければ、以下の表示を示します。 ネットワークでサーチできなかったHELIXユニットがあるならば、電源やすべてのネットワーク接続に問題がないか、すべてのネットワークのユニットのスイッチを入っていることを確認し、もう一度サーチ操作を試みてください。問題が解決しない場合はKlark Teknikの販売店または購入先に連絡してください。



HELIX RAPIDEが指定したHELIXユニットの全てを見つけることが出来なかった場合、以下の表示が示されます。すべての割り当てられていないチャンネル・アクセス・ボタンが点滅している間、バンクAで見つけられたチャンネルに割り当てられたチャンネル・アクセス・ボタンは点灯します。 HELIXユニットの正しい数を入れ間違えてしまった場合、繰り返しHOME (SET UP) を押してデフォルト表示に戻ってから、再び試してください。しかし、問題が解決しない場合は、Klark Teknikの販売店または購入先に連絡してください。



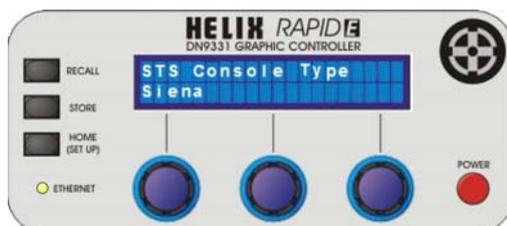


5.3. ソロトラッキング・コンソール・タイプのメニュー

これは、セットアップ・メニューのシーケンス内の3番目のメニューで、「Yes」を選択することで入ることが出来ます。マルチ・マスター・モードのメニュー(セクション5.1を参照)で、それは、HELIX RAPIDEのシリアルポートに接続しているSTSに対応したコンソールのタイプをセットすることができます。

このセッティングを行うための7つのオプションは、「None」、「H1000」、「H2000」、「H3000」、「H4000」、「L3000」と「Siena」があります。

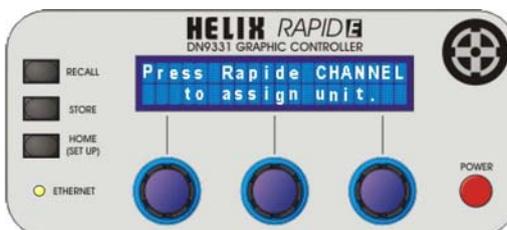
点灯している左側のエンコーダで選択操作を行ってください。



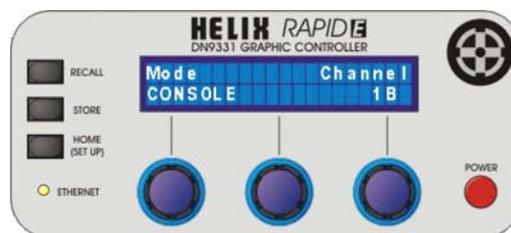
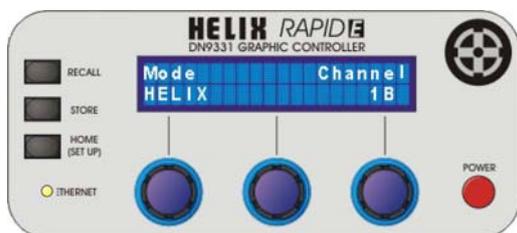
次のメニューへ進む前に、表示されている設定が正しいか確認をし、次のセクション5.4に進むためにHOME (SETUP)を押してください。

5.4. チャンネルのセットアップ・メニュー

これは、セットアップのメニューシーケンスの4番目のメニューです。ここではデジタルコンソールかHelix グラフィックEQかを個々のチャンネルでコントロールするように、チャンネル・アクセス・ボタンを割り当てることができます。



チャンネル・アクセス・ボタンのうちの1つを押すことで現在のアサインを示します。そして、それは左右のエンコーダを使用して変えることが出来ます。右のエンコーダは「HELIX」または「CONSOLE」のモード、左のエンコーダはチャンネルを選ぶことが出来ます。



アスタリスク(右に示される)がチャンネル番号に続く場合は、アサインされていないことを示します。



すべてのセッティングが適切にセットされた時、HOME (SET UP)を押すことでセットアップ・メニューを続けて進む事が出来ます。



5.5. STSソロトラッキングのセットアップ・メニュー

Note STS ソロトラッキングのセットアップ・メニューは、ソロトラッキング・コンソールのタイプ・メニュー（セクション5.3を参照）がHELIX RAPIDEのシリアルポートに接続しているSTS対応のコンソールがない場合は表示されません。どのコンソールが繋がっているか、オプションで表示したメニューで選ばれたSTSコンソール・タイプに依存します。

割り当てた時、このメニューは、セットアップ・メニューのシーケンスで5番目のレベルにメニューとして現れ、チャンネルのセットアップ・メニュー（セクション5.4を参照）で**HOME (SET UP)**を押すことで入ることが出来ます。そしてソロトラッキングの割り当てをチャンネル・アクセス・ボタンの各々に設定することができます。

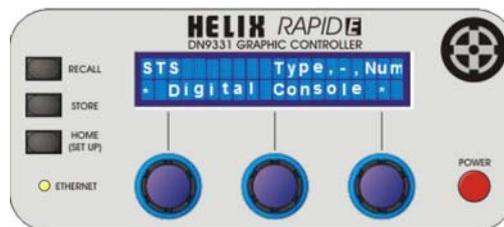
ソロトラッキングの割り当てが正しく出来た場合、**HOME (SET UP)**を押すことでセットアップ・メニューを継続して進むことが出来ます。

5.5.1 変更を加えるには

このメニューの内容は、操作状況に合わせて変化するので注意が必要です。利用できるオプションは、ソロトラッキングのコンソール・タイプのメニュー（セクション5.3を参照）上で選ばれたコンソール・タイプで決まります。チャンネル・アクセス・ボタンのうちの1つを押すことで、その現在の割り当てを示します。そして、それはエンコーダを使用して変えることができます。

点灯している左のエンコーダは常に有効で「タイプ」の選択ができ、右のエンコーダは「タイプ」オプションがチャンネル番号を必要とするときのみ（これが、「None」と「Solo Clear」以外はすべてのタイプにあてはまるというわけではありません）有効（点灯する）になります。

選ばれたチャンネル・アクセス・ボタンがデジタルコンソールのグラフィックEQにすでに割り当てられているならば、このページは以下に示すように読むだけのメッセージを表示します。この例では、どのエンコーダも動作しません（点灯しません）。



HOME (SET UP)を押すことで、次のメニューレベルへ移動します。

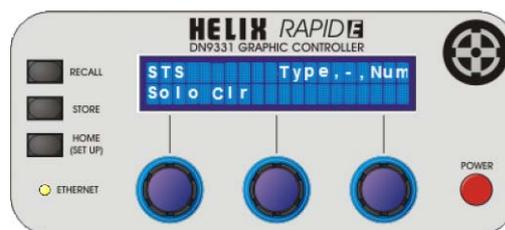
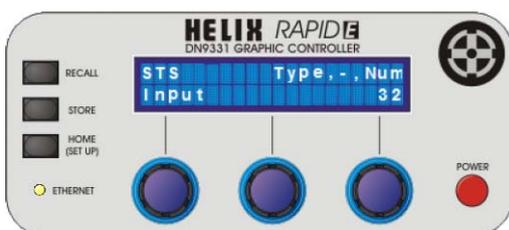


5.5.2 ソロラッキングのオプション

各タイプのために考えられる選択オプションは、以下の表に示されます

None	H1000	H2000	H3000	H4000	L3000	Siena
None	None	None	None	None	None	None
-	Solo Clear	Solo Clear	Solo Clear	Solo Clear	Solo Clear	Solo Clear
-	Input (1-56)	Input (1-56)	Input (1-56)	Input (1-56)	Input (1-56)	Mix Out (1-16, L, R)
-	I/P ABCD (A-D)	Group (1-12)	Group (1-24)	Group (1-24)	St Fx Rt (1-4)	-
-	Group (1-10)	Aux (1-12)	Matrix (1-8)	St. Aux (1-8)	Group (1-8)	-
-	Aux (1-10)	Matrix (1-8)	-	Matrix (1-8)	Mix (1-12)	-
-	Matrix (1-8)	-	-	-	Matrix (1-6)	-
-	ChMatrix (1u, 1l – 56u,56l)	-	-	-	-	-

5.5.3 ソロラッキングのセットアップ例



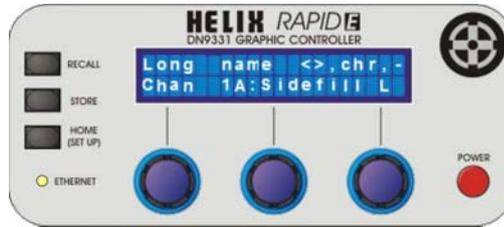
次のセクション(5.6)に進むためには HOME (SETUP)を押してください。



5.6. チャンネルのロング・ネームのセットアップ・メニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの6番目のメニューで、選択したチャンネル・アクセス・ボタンで設定されたHelix EQに最大11文字の名前をつけることができます。また、このメニュー表示の時、他のチャンネル・アクセス・ボタンを押すことで、そのチャンネルの名前の入力を可能にします。

点灯する左と中央のエンコーダが使用でき、左のエンコーダはカーソル移動、中央のエンコーダは実際の文字を選ぶ事に使われます。



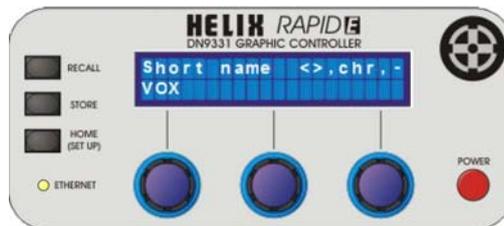
Note: 選ばれたチャンネルが以前デジタルコンソールのグラフィックEQに割り当てられたならば、このメニューは読み取りだけで、割り当てられたデジタルコンソールのグラフィックEQの名前8文字を示します。この場合、エンコーダのどれも操作中にはなりません。

次のセクション(5.7)に進むためには HOME(SETUP)を押してください。

5.7. チャンネルのショート・ネームのセットアップ・メニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの7番目のメニューで、選択したチャンネル・アクセス・ボタンで設定されたHelix EQに最大3文字の名前をつけることができます。また、このメニュー表示の時、他のチャンネル・アクセス・ボタンを押すことでそのチャンネルの名前の入力を可能にします。

点灯する左と中央のエンコーダが使用でき、左のエンコーダはカーソルの移動、中央のエンコーダは実際の文字を選ぶ事に使われます。



Note 選ばれたチャンネルが以前デジタルコンソールのグラフィックEQに割り当てられたならば、このメニューは読み取りだけで、この場合、エンコーダのどれも操作中にはなりません。

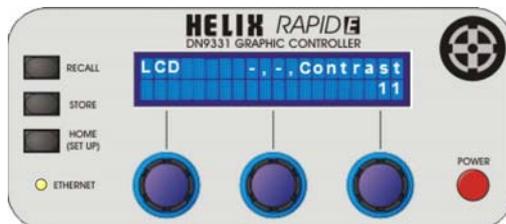
次のセクション(5.8)に進むためには HOME(SETUP)を押してください。



5.8. LCD コントラストのメニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの8番目のメニューで、英数字液晶ディスプレイのコントラストを右のエンコーダを用いて0から22のスケールで設定することができます。

動作中のエンコーダがコントラストの値を変えるのに使ったならば、コントラスト変化はリアルタイムで生じます。

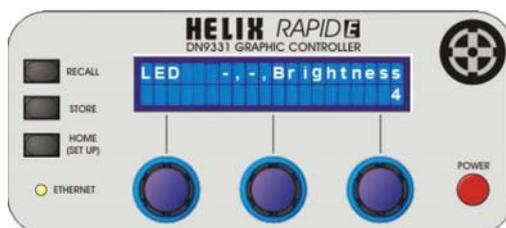


コントラストの設定が終わったならば、**HOME (SET UP)**を押すことでセットアップ・メニューを続けて進むことができます。

5.9. LED の明るさメニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの9番目のメニューで、右のエンコーダを使用して、LEDの明るさを1から16のスケールで設定することができます。

動作中のエンコーダで明るさの値を変えるのに使ったならば、明るさの変化はリアルタイムで生じます。



明るさの設定が終わったならば、**HOME (SET UP)**を押すことでセットアップ・メニューを続けて進むことができます。



5.10. ユニットに名前を付けるメニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの10番目のメニューで、ユニットの名前をデフォルトである「Klark Teknik Rapide」から変更することができます。

点灯する左と中央のエンコーダを使用し、それぞれ、文字の位置と文字自身を変えるのに用いられます。

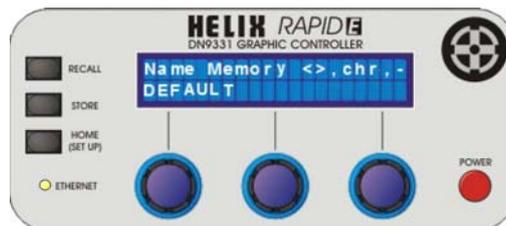


名前の設定が終わったならば、**HOME (SET UP)**を押すことでセットアップ・メニューを続けて進むことができます。

5.11. ワーキング・メモリーに名前を付けるメニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの11番目のメニューで、ワーキング・メモリーの名前を変更することができます。

点灯する左と中央のエンコーダは、それぞれ、文字の位置と文字自身を変えるのに用いられます。



名前の設定が終わったならば、**HOME (SET UP)**を押すことでセットアップ・メニューを続けて進むことができます。



5.12. パワーアップ・ロゴのメニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの12番目のメニューで、Klark Teknikロゴとソフトウェアのバージョンが電源投入時に表示されるかどうか決定するのに用いられます。

点灯する左のエンコーダで、「Logo On」(デフォルト)と「Logo Off」間を切換えることができます。

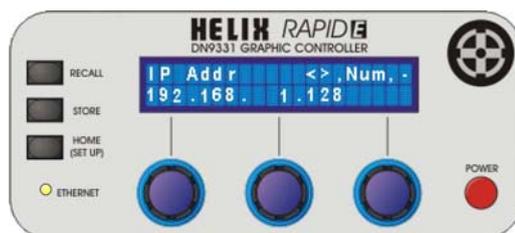


要望の設定が出来たならば、**HOME (SET UP)**を押すことでセットアップ・メニューを続けて進むことができます。

5.13. イーサネット通信のセットアップ・メニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの13番目のメニューで、手でIPアドレス(デフォルトは、192.168.1.128です)を選ぶのに用いられます。

左のエンコーダはIPアドレスを選ぶために、中央のエンコーダは桁ごとに0-255の範囲で数を選ぶのに用いられます。



すべてのHELIX DN9340E、DN9344E、DN9848Eユニットは192.168.1.1のデフォルトIPアドレスを持っています。そして、ネットワーク化された各HELIXユニットが同一のIPアドレスを持たないように手動で変更しなければなりません。セクション5.14を参照してください。

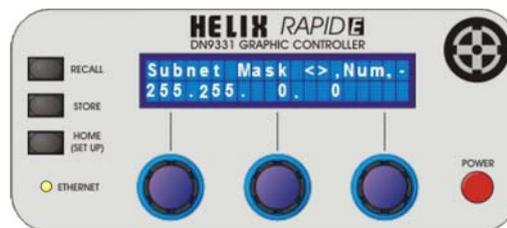


5.14. イーサネット・サブネット・マスクのメニュー

これは、セットアップ・メニューシーケンスの14番目のメニューで、効率的に前のメニューから続けて、イーサネットIPアドレスのサブネット・マスクをユニットに設定することができます。

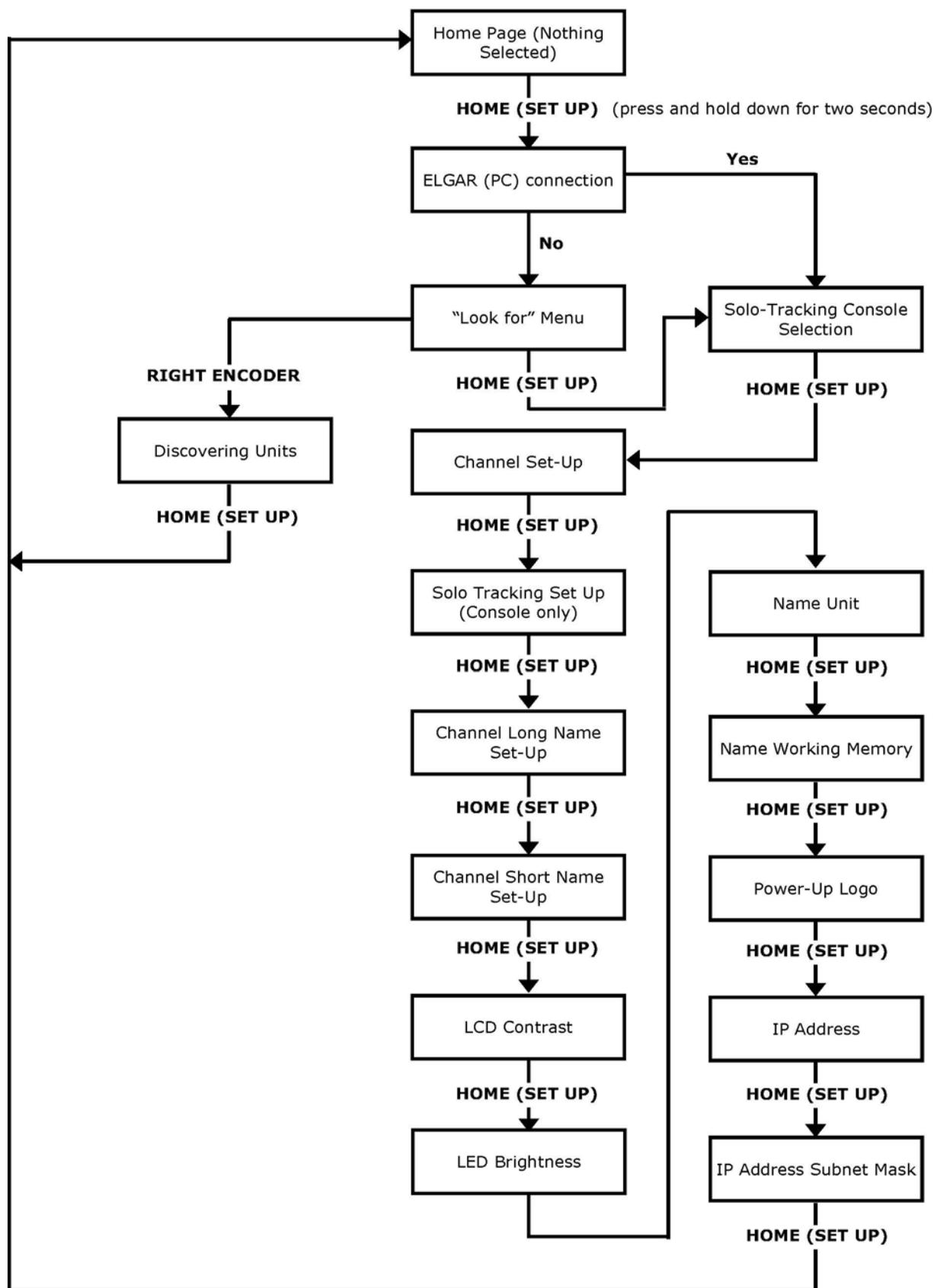
左のエンコーダはIPアドレスの桁を選ぶのに用いられ、中央のエンコーダは桁ごとに0-255の範囲で数を選びます。デフォルトサブネットマスクは、255.255.0.0です。

イーサネット・サブネットの設定が完了したならば、**HOME (SET UP)**を押すことでセットアップ・メニューを出ることが出来ます。





5.15. メニューシーケンスのフローダイアグラム





6. 技術仕様

コネクタ(リアパネル)

電源	全体のヒューズを持つBulgin PF11スナップ・フィットのIEC電源インレット
イーサネット	8つのNeutrik NE8FBH Etherconコネクタ
ソロラッキング・システム	9 pin D-type コネクタ

電源条件

電圧/消費電力	100 から 240V AC、50/60Hz, 250W
---------	------------------------------

材料

シャーシ、リアパネルとカバー	亜鉛メッキ・スチール
フロントパネル	アルミニウム

寸法

高さ	264 mm - (6U)
幅	483 mm
奥行(最小)	85 mm
奥行(最大)	150 mm

ラックにマウントしたケースは、独立して操作できるように、後部のパネルに角度を付けました。

重量

本体	10.1 kg
出荷時	11.1 kg



Midas Consoles Japan Division ダイヤルイン : 03-6661-3801
URL: <http://www.midasconsolesjapan.com> Email: info@midasconsolesjapan.com



本 社 〒 130-0011 東京都墨田区石原 4-35-12 TEL 03-6661-3825 FAX 03-6661-3826
大阪営業所 〒 531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-4-14-602 TEL 06-6359-7163 FAX 06-6359-7164
URL: <http://www.bestecaudio.com> Email: info@bestecaudio.com

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する事があります